

はじめに

北本市下石戸下地内に所在するデーノタメ遺跡は、1,200 年にわたって営まれた縄文時代中期から後期（約 5,000 年前～約 3,800 年前）の集落遺跡で、特に中期の環状集落は長径 210m の規模を誇り、「関東最大級」といわれています。集落の下の方には、当時の人々が利用した水場空間が良好に残っており、この水場と集落がセットで残されている遺跡は全国でも稀です。

また、水場からは通常の遺跡では残らない漆を塗った土器や木製品、植物の実・種、花粉、昆虫遺体などが豊富に出土しており、当時の周辺環境、縄文人の食の実態や植物資源の利用方法の解明・復元等が期待されています。

このたび、デーノタメ遺跡のもつ価値や魅力、そして将来について市民の皆さまに広く知っていただくため、シンポジウム「デーノタメ遺跡が拓く縄文の世界Ⅰ」を開催いたします。

平成 29 年 2 月 北本市教育委員会

